

高等学校 芸術（書道）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4** ～大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1

次の図版A～Eについて、(1)～(6)の問いに答えよ。

図版A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅲ
教育図書 24ページ

図版B

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ
光村図書 12ページ

図版C

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅱ
教育出版 48ページ

図版D

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書の古典と理論 改訂版
全国大学書道学会 光村図書 52ページ

図版E

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅱ
教育出版 25ページ

(1) 図版Aについて次のア、イの問いに答えよ。

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|------|
| 1 | 元彦墓誌銘 | 2 | 高貞碑 | 3 | 孟法師碑 |
| 4 | 元顕偽墓誌銘 | 5 | 九成宮醴泉銘 | | |

イ 図版Aと同時代に作られた方筆の書の作品を1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|---|------|---|---------|
| 1 | 張猛龍碑 | 2 | 皇甫誕碑 | 3 | 天発神讖碑 | 4 | 多宝塔碑 | 5 | 開通褒斜道刻石 |
|---|------|---|------|---|-------|---|------|---|---------|

(2) 図版Bについて次のア～ウの問いに答えよ。

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|-------|---|-----|---|-----|
| 1 | 大孟鼎 | 2 | 泰山刻石 | 3 | 小臣觶犧尊 | 4 | 石鼓文 | 5 | 石門頌 |
|---|-----|---|------|---|-------|---|-----|---|-----|

イ 図版Bに関する説明として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 鼎としては極めて大きな例で、銘文は二九一字を十九行に配し、周代の代表作である。
- 2 器は犀の姿をした尊という儀式用の盛酒器。王が巡察に随行した家臣に子安貝を賜ったことが記されている。

3 石門道を修理した漢の楊孟文の功德を頌したものである。

- 4 秦の始皇帝が天下を統一したのち、巡幸して各地に徳を頌した石碑を残した。李斯の書といわれる。
- 5 唐代初期に陝西省で発見された刻石で、王の狩猟に関する事柄が大篆で刻されている。

ウ 左の図版は、図版Bを臨書した作品であるが、この作品の筆者を1～5から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

光村図書
15ページ

- 1 伊秉綬
- 2 鄧石如
- 3 呉昌碩
- 4 徐三庚
- 5 趙之謙

(3) 図版Cについて次のア～ウの問いに答えよ。

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 薦季直表
- 2 西狭頌
- 3 爨宝子碑
- 4 谷朗碑
- 5 玄秘塔碑

イ 筆者を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 柳公権
- 2 王献之
- 3 鍾繇
- 4 懷仁
- 5 仇靖

ウ 図版Cの筆者の作品を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 道因法師碑
- 2 平復帖
- 3 洛神賦十三行
- 4 美人董氏墓誌銘
- 5 宣示表

(4) 図版Dについて次のア～ウの問いに答えよ。

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 書譜
- 2 真草千字文
- 3 草書孝經
- 4 白氏詩卷
- 5 樂毅論

イ 筆者を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 智永
- 2 孫過庭
- 3 藤原行成
- 4 光明皇后
- 5 賀知章

ウ 図版Dの草書を楷書で書き換えた場合、正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 山未不入以子処之豪翰絶右
- 2 山未不入以子発之高水翰絶右
- 3 参不入以子敬之豪翰殆右
- 4 参不入以子所之義翰絶右
- 5 参不入以子故之義翰殆右

(5) 図版Eについて次のア、イの問いに答えよ。

ア 成立年代を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 北魏 2 後漢 3 東晋 4 三国 5 秦

イ () に入る適切な語句の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

図版Eの碑は山東省曲阜の孔子廟に建てられたもので、書体は(①)の先駆である。また、(②)、史晨碑と併せて「孔廟三碑」と呼ばれる。

- | | | | | | |
|---|------|--------|---|------|--------|
| 1 | ① 八分 | ② 曹全碑 | 2 | ① 古隸 | ② 張遷碑 |
| 3 | ① 八分 | ② 爨龍顔碑 | 4 | ① 古隸 | ② 爨宝子碑 |
| 5 | ① 八分 | ② 礼器碑 | | | |

(6) 図版A～Eを時代の古いものから順に並べたとき、三番めにくる作品の図版はどれか、1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 A 2 B 3 C 4 D 5 E

次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 次の文はある人物について説明したものである。これを読んで次のア～ウの問いに答えよ。

中国、初唐の書家、学者。はじめ隋に仕え、唐の高祖からも官職に抜擢され、二代皇帝太宗の下では宮廷内の教育係として書の指導にも当たった。太宗が命じて建立させた記念碑の書は七十六歳の時のもので、その書法は「楷法の極則」と称されている。

ア 誰について説明したものが、1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 虞世南 2 王羲之 3 顔真卿 4 欧陽詢 5 褚遂良

イ この人物の作品の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 仲尼夢奠帖・化度寺碑・房玄謙碑
2 蘭亭序・洛神賦十三行・十七帖
3 九成宮醴泉銘・枯樹賦・温泉銘
4 孟法師碑・雁塔聖教序・伊闕仏龕碑
5 麻姑仙壇記・自書告身・顔氏家廟碑

(2) 次のア、イの問いに答えよ。

ア 次のA～Eの図版は宋の四大家と呼ばれる人物の作品であるが、後に示す①～⑤について、これらに関する説明として正しいものはどれか。正しい説明の組合せを1～5から一つ選べ。

解答番号は 17

図版A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…書Ⅱ
光村図書
36ページ

図版D

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…書道Ⅱ
教育出版
巻頭図版

図版B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…書道Ⅲ
教育出版
21ページ

図版E

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

図版C

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典…図版C 書の古典と理論 改訂版
全国大学書道学会 光村図書
56ページ

出典…書Ⅱ

光村図書
36ページから37ページまで

- ① 宋の四大家とは、蘇軾、米芾、黄庭堅、趙孟頫のことをいう。
- ② 図版Aは「黄州寒食詩卷」であるが、その跋文も有名で、図版Bの筆者が書いている。
- ③ 図版Cと図版Eは同じ筆者の作品である。
- ④ 図版Cの筆者の作品はの他に「苕溪詩卷」や「伏波神祠詩卷」などがある。
- ⑤ 図版Dの筆者は蘇軾である。

- 1 ① ⑤
- 2 ② ③
- 3 ③ ④
- 4 ② ③ ④
- 5 ② ④ ⑤

イ 次の文の（ ）内に入る作品として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 18

龍門石窟の古陽洞に刻された造像記のうち、書法のすぐれたもの二十点を選んで龍門二十品と称すが、その中でも特にすぐれた（ ）の四つの造像記を龍門四品という。

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 鄭長猷造像記 | 孫秋生造像記 | 始平公造像記 | 牛橛造像記 |
| 2 | 始平公造像記 | 楊大眼造像記 | 魏靈藏造像記 | 孫秋生造像記 |
| 3 | 魏靈藏造像記 | 楊大眼造像記 | 賀蘭汗造像記 | 牛橛造像記 |
| 4 | 始平公造像記 | 鄭長猷造像記 | 楊大眼造像記 | 魏靈藏造像記 |
| 5 | 孫秋生造像記 | 賀蘭汗造像記 | 鄭長猷造像記 | 牛橛造像記 |

(3) 次の図版についてア～ウの問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅰ
教育図書 48ページ

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は 19

- 1 風信帖 2 真草千字文 3 光定戒牒 4 伊都内親王願文 5 久隔帖

イ 筆者を1～5から一つ選べ。解答番号は 20

- 1 小野道風 2 最澄 3 嵯峨天皇 4 空海 5 藤原行成

ウ 図版に関する説明として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は 21

- 1 最澄の弟子光定が比叡山の戒壇の設立に奔走した功績を称え、光定の戒牒を天皇が自ら認めたもの。
- 2 図版は手紙三通の一通めであるが、その第二通は忽恵帖、第三通は忽抜帖と呼ばれている。
- 3 最澄に宛てた手紙。中国から帰国した後の書。
- 4 高雄の空海のもとにあった門弟の泰範に宛てた手紙。
- 5 生母藤原平子の遺言によって、山階寺に墾田十六町ほかを寄進した際の願文。

(4) 次の図版についてア～ウの問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…日本名筆選24 小島切 香紙切
二玄社
34ページ

ア 作品名を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 藍紙本万葉集 2 針切 3 元永本古今和歌集 4 香紙切
5 本阿弥切本古今和歌集

イ 伝承筆者を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 西行 2 藤原定家 3 小大君 4 源俊頼 5 藤原伊房

ウ 次の①～⑤について、図版に関する説明として正しいものはどれか。正しい説明の組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

- ① 伝承筆者は三十六歌仙の一人である。
② この作品は、完本の伝わらない散逸歌集を書写した古筆切である。
③ 防虫効果もある丁子で染めた料紙に書かれている。
④ 紙を二つ折りにして重ねたものを、絹の撚り糸で綴じた大和綴の冊子本である。
⑤ かつて光悦が愛蔵していたと伝えられるところから、この名がある。

- 1 ② ④
2 ④ ⑤
3 ① ② ③
4 ① ② ⑤
5 ① ③ ④

高等学校学習指導要領（平成三十年三月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 第10 書道I
について、次の問いに答えよ。

問い 次の (A)～(D)は、書道Iの「3 内容の取扱い」である。傍線部①～⑬のうち、いくつかは誤った内容となっているが、正しいものを○、間違っているものを×としたとき、(A)～(D)においてそれぞれ正しい組合せはどれか、1～5から一つ選べ。

なお、 (A)～(D)の「A表現」の(1)、(2)及び(3)については、それぞれ、「漢字仮名交じりの書」、「漢字の書」及び「仮名の書」をさしている。

(A)

- (1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに、「漢字の書」^①及び「仮名の書」相互の関連を図るものとする。
- (2) 内容の「A表現」の(1)、(2)及び(3)の指導については、それぞれア、イ及びウの各事項を、「B鑑賞」の(1)の指導については、ア及びイの各事項を適切に関連させて指導する。
- (3) 内容の「A表現」の(1)については漢字は楷書、行書及び草書、^②仮名は平仮名及び片仮名、^③(2)については楷書及び行書、(3)については平仮名、片仮名及び変体仮名を扱うものとし、また、^④(2)については、生徒の特性等を考慮し、^④隷書及び篆書を加えることもできる。

解答番号は

25

5	4	3	2	1
①	①	①	①	①
×	○	×	×	○
②	②	②	②	②
×	○	×	○	×
③	③	③	③	③
○	×	×	○	○
④	④	④	④	④
×	○	×	×	○

(B)

- (4) 内容の「A表現」の(2)及び(3)については、^⑤臨書及び創作を通して指導するものとする。
- (5) 内容の「共通事項」は、^⑥臨書及び創作の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫する。
- (6) 内容の「A表現」の指導に当たっては、^⑦大筆、小筆等を扱うよう配慮するものとする。
- (7) 内容の「A表現」の指導に当たっては、中学校国語科の書写との関連を十分に考慮するとともに、高等学校国語科との関連を図り、学習の成果を^⑧国語科の授業に生かす視点から、目的や用途に応じて、硬筆も取り上げるよう配慮するものとする。

解答番号は

26

(C)

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| ○ | ○ | × | ○ | × |
| ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ |
| × | ○ | ○ | × | × |
| ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ |
| ○ | × | ○ | × | ○ |
| ⑧ | ⑧ | ⑧ | ⑧ | ⑧ |
| ○ | ○ | × | × | × |

解答番号は

26

- (8) 内容の「B鑑賞」の(1)のイのウの指導に当たっては、^⑨漢字仮名交じり文の成立について取り上げるようにする。

- (9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、^⑩理解力、技術力、創造力の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じたグループ活動^⑪を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、作品について自分なりに批評する活動^⑫などを取り入れるようにする。

解答番号は

27

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ⑨ | ⑨ | ⑨ | ⑨ | ⑨ |
| × | ○ | × | ○ | × |
| ⑩ | ⑩ | ⑩ | ⑩ | ⑩ |
| ○ | × | ○ | × | ○ |
| ⑪ | ⑪ | ⑪ | ⑪ | ⑪ |
| ○ | × | ○ | × | × |
| ⑫ | ⑫ | ⑫ | ⑫ | ⑫ |
| ○ | × | × | ○ | ○ |

(D)

⁽¹⁰⁾ 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、書道の諸活動を通して、生徒が文字や書と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、書に関する肖像権⁽¹⁵⁾について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、書⁽¹⁶⁾の伝統と文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

解答番号は

28

5	4	3	2	1
⁽¹³⁾	⁽¹³⁾	⁽¹³⁾	⁽¹³⁾	⁽¹³⁾
×	×	○	○	○
⁽¹⁴⁾	⁽¹⁴⁾	⁽¹⁴⁾	⁽¹⁴⁾	⁽¹⁴⁾
○	○	○	×	×
⁽¹⁵⁾	⁽¹⁵⁾	⁽¹⁵⁾	⁽¹⁵⁾	⁽¹⁵⁾
○	×	×	○	×
⁽¹⁶⁾	⁽¹⁶⁾	⁽¹⁶⁾	⁽¹⁶⁾	⁽¹⁶⁾
○	×	○	○	×

4

次の(1)～(4)の問いに答えよ。

- (1) 次の図版の全文を、小学校国語科書写で表記する平仮名で書け。併せて、変体仮名についてはその平仮名の下に()をつけて原字を楷書で書け。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…日本名筆選12 寸松庵色紙

二玄社

23ページ

(2) 次の印影の図版ア、イに記されている文字をそれぞれすべて楷書で書け。

ア

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典・書Ⅲ

教育図書

48ページ

イ

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典・書の古典と理論 改訂版

全国大学書道学会

光村図書 66ページ

(3) 次の図版の篆書をすべて楷書で書け。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典・書Ⅱ

光村図書 13ページ

(4) 次のア～カの文の (①) ～ (⑩) に入る適切な語句を、漢字で書け。

ア 落款とは、(①) を省略した語で、署名・捺印などをすることをいう。また、書画の初めに作品の右上に押す印を引首印又は (②) という。

イ 篆書には、秦の始皇帝によって統一された (③) のほか、青銅器に鑄込まれた (④) 、牛の骨等に刻まれた (⑤) などがある。

ウ 書法には布置章法や用筆法の他、点画の間の取り方と字形のまとめ方をいう (⑥) などがある。

エ 腕の構え方 (腕法) には、提腕法、(⑦) 、(⑧) がある。また、廻腕法という特殊な腕法もある。

オ 王羲之は、永和九年三月三日、会稽山陰に江南の名士四十一人を招き、禊の儀式を行い、曲水の宴を催した。そこで作られた詩に自ら書いた序文が「(⑨)」である。その真跡は唐の (⑩) 皇帝の所有となった。現在伝えられている「(⑨)」で、唐代の馮承素の摸書を「(⑪)」という。他に、虞世南臨の「(⑫)」、褚遂良臨の「褚模本」、歐陽詢臨の「(⑬)」がある。

カ 小野道風は、藤原行成、(⑭) とともに三跡 (三蹟) と称され、和様書道の基礎を築いた人として名高い。道風の漢字作品を一つ挙げると「(⑮)」がある。またその筆跡を (⑯) という。

高等学校学習指導要領（平成三十年三月告示）について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

- (1) 次の [] (A)は、「第2章 第7節 芸術 第2款 第10 書道Ⅰ 1 目標」である。
 [] (A)に示す(1)～(3)でどのような資質・能力の育成をめざしているか、解答欄の（ ）
 に入る適切な語句をそれぞれ書け。但し、「第1章 総則 第1款 高等学校教育の基本と教育
 課程の役割」で使われている言葉を用いて書くこと。

(A)

1 目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書の高さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- (2) 次の [] (B)は、「第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の抜粋である。書道Ⅰ「漢字仮名交じりの書」の学習において、(1)の事項に配慮して1人1台端末を活用するとき、具体の取組みを四つ挙げ、それにより期待できる学習効果をそれぞれ書け。

(B)

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、（…中略…）また、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、表現及び鑑賞の学習の充実を図り、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫すること。

令和4年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

三次選考択一問題の正答について

校種	高等学校	教科・科目	書道
----	------	-------	----

解答番号	正答番号	解答番号	正答番号	解答番号	正答番号
1	2	11	3	21	3
2	1	12	2	22	4
3	4	13	5	23	3
4	5	14	3	24	3
5	3	15	4	25	5
6	1	16	1	26	2
7	3	17	2	27	4
8	5	18	2	28	3
9	1	19	1		
10	2	20	4		

受験番号

高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち1)

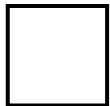
(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

4

得点

(1)

みつね(年)
みちし(志)らはたつね(年)も(毛)
ゆ(遊)か(可)おもみちは(盤)をぬさ
(佐)とたむ(无)け(介)て(豆・天)あ
きは(盤)いに(尔)け(介)り(利)



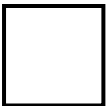
(2)

ア
老 鈍
イ
鄧石如字頑伯



(3)

慎言節飲食知



高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち2)

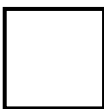
(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号

4

(続き)

(4)						
オ		エ	ウ	イ		ア
⑬	⑪	⑨	⑦	⑥	⑤	③
定武本 /	神龍半印本 /	蘭亭序(蘭亭叙でも可) /	懸腕法(⑦⑧は入替え可) /	間架結構法(結構法、結体法でも可) /	甲骨文 /	小篆(秦篆でも可) /
	⑫	⑩	⑧		④	②
	張金界奴本 /	太宗 /	枕腕法(⑦⑧は入替え可) /		金文 /	関防印(冠帽印でも可) /



受験番号

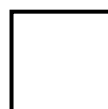
高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち3)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

4 (4) (続き)

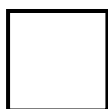
(4)	
カ	
⑬	⑭
野跡	藤原佐理
/	/
	⑮ 屏風土代・三体白氏詩 卷・智証大師諡号勅書・ 玉泉帖 など



5

得点

(1)		
(3)	(2)	(1)
(学びに向かう力、人間性等)を 涵養すること /	(思考力、判断力、表現力等)を 育成すること /	(知識及び技能)が 習得されるようにすること /



高等学校 芸術(書道) 解答用紙

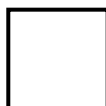
(4枚のうち4)

受験番号

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

5

(続き)



(2)		具体の取組み	期待できる学習効果
<p>自身の制作過程の動画を撮影し、他者と共有し、相互評価する。</p>	<p>自身の作品の写真を撮り、記録、蓄積する。</p>	<p>自身の制作過程の動画を撮影し、他者と共有し、相互評価する。</p>	<p>ポートフォリオとして学習成果や変容の比較・検証に主体的に取り組むことができる。</p>
<p>学習支援ソフトを活用し、各自の完成作品を即時に共有し、生徒間の意見交換、相互批評をする。</p>	<p>インターネットを活用して、題材選びや著作権等について調べ学習をする。</p>	<p>自身の制作過程の動画を撮影し、他者と共有し、相互評価する。</p>	<p>題材にふさわしい言葉を探すことにより、作品づくりのイメージや表現方法を考え、学びに向かう態度を養う。また、著作権について調べることにより、情報モラルが身につく。</p>
<p>学習支援ソフトを活用し、各自の完成作品を即時に共有し、生徒間の意見交換、相互批評をする。</p>	<p>自身の制作過程の動画を撮影し、他者と共有し、相互評価する。</p>	<p>運筆・線質(遅速・緩急・抑揚・呼応等)への理解を、生徒が主体的、対話的に深めることができる。</p>	<p>互いの作品を鑑賞し合うことにより、主体的に他者の作品のよさを学ぶ。また、他者と対話することにより他者の技法や工夫を理解し、自己の作品づくりにかすことができる。</p>